

天王森通信

2019年7・8・9月号 NO.103 発行 天王森泉公園運営委員会

《令和元年の夏を迎えて》

新元号令和の幕開けから二カ月が経ちました。その間、天王森泉公園では恒例の子供達が泥と戯れる田植え体験、そして夜間の特別開園の下でのぼたる観賞会などを実施してきました。

幸い、これらの事業へは多くの方々に足をお運びいただきました。

私はというと、令和の最初の10連休を利用し、岩手から山形そして新潟・長野へと北から南へと春を求めての車の旅に出かけることができました。

八幡平では雪の回廊を登攀(*1：とはん)し到着した山頂部は凍てつく霧下、その麓(ふもと)にある小岩井牧場は桜が満開への助走をはじめたところで、湿地帯には自生の水芭蕉が咲き始めたところでした。

その途中何気なく車を止め地域の水源となっている里山林に分け入ると、ピンク色の花が彼方こちらと散らばって咲いている - カタクリの自生地に迷い込みました。そして南下すると山形周辺では林檎の白花が満開。

続いて米沢経由で到着した新潟では冬季シーズン営業を終了したスキー場の道路脇にカタクリが群落を成し、周辺の水場にはまたもや水芭蕉が流水のなかで咲き乱れていました。それも当たり前のように、保護という文字などどこにもありません。人口過密といわれる都会に住む我々は、こうした自然に触れたとき心底感動と驚きを覚えるものです。

こうした野太くあり、そこでの環境と一体となった自然景観に代わり、ボランティアが手塩にかけ育んだ小粒ですが、自慢の自然を天王森泉公園では楽しんでいただくことができます。

これから初夏から晩夏へと季節が移りかわってゆきます。湧水の涼、緑の下での日差しと風、そして製糸工場当時の面影を残す天王森泉館での文化体験のひと時をお楽しみください。皆様の来園をお待ちしております。

運営委員会会長 池原 正

*1:登山で、険しい岩壁などをよじ登ること。

「田植え体験」報告

6月1日(土)：天王森泉館横の田んぼで、田植え体験を行いました。当日は天気も良く、一般参加者の親子、グループ参加の「なかよしこども園」親子・関係者とボランティアを含め、約100人が参加しました。植えた苗は、もち米と古代米です。田植えだけでなく、親子で泥んこになって遊んだり、カエル、ザリガニなど生き物をつかまえて楽しんでいました。この秋には、「稲刈り体験」「天王森餅つき」などを企画しています。

【田んぼG】角本



11月17日までの行事カレンダー
詳細はホームページを参照ください。



「七夕まつり」紙芝居
7月7日(日)
紙芝居 10:00~
折り紙 11:00~
お願いごとを短冊に書いて飾ってね。



**「水辺で遊ぼう
生き物観察会」**
8月4日(日)
和泉川など水辺の
生き物観察。
7/20~参加受付開始



「夏休み工作体験」
8月18日(日)
小学生対象
8/11~参加受付開始
「風車」工作品製作



「かかしコンテスト&展示」
9月1日(日)~9月29日(日)
富士見が丘地区経営委員会との
共催イベント



「古民家ライブ&野点」
9月22日(日)
二胡・ギター・タブラ
の共演。無料ライブ



「稲刈り体験」
10月12日(土)
小学生以下
参加予約制



「新そばまつり」
10月27日(日)
整理券配布



「天王森まつり」
11月17日(日)
天王森鍋・焼き芋・
野菜直売・野点など

天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennoumori.net>



天王森泉公園

「ほたる観賞会」報告

6/3(月)～6/6(木)：ほたる観賞会を行いました。観賞者数は4日間で1241人でした。来園者は「何回見ても幻想的で美しい」と感動をお持ち帰りになりました。



右の写真：ほたるが数匹飛んでいる状態です。

振りかえり ◆裏作と言われた竹の子！いやいや想像以上の収穫、竹の子堀もできました。



- ◆3月シイタケ菌打ち後、仮伏せのホダ木を入梅前に本伏せ、遮光ネットで防御。
- ◆そば打ち体験好評“会津のかおり”2・8そばでグッド・2たて実践で笑顔！

明日へ



- 七夕まつりで郷土紙芝居見て・折り紙体験、退屈感なしのお時間を!! 7月7日(日)
- 夏休み“旬な作品”に挑戦しよう 小学生対象 8月18日(日)
- 古民家ライブで“二胡・タブラ”の演奏 音色をご堪能下さい。9月22日(日)

詳しくはHP・掲示板をご覧ください。【行事G】大西

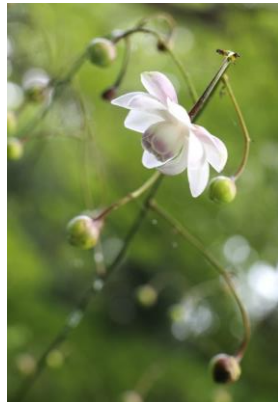
ショウマの仲間

野の花苑の夏に咲く花 ショウマ（升麻）の仲間を紹介します。

升麻とはサラシナショウマ（キンポウゲ科）を生薬として用いたもので、それに花や草が似ているものを〇〇ショウマと名付けたようです。特徴のある可愛い花を楽しみましょう。
by:風露草



島山吹ショウマ（バラ科）
6月開花 小葉が山吹の葉に似ていることから名がつけましたが、花は火花が飛び散ったみたいです



蓮華ショウマ（キンポウゲ科）
7月開花 草がショウマのようで花がハスに似てとても可憐です



犬ショウマ（キンポウゲ科）
9月開花 利用価値のないショウマと言われますが、小さな花が綺麗です



黄蓮華ショウマ（ユキノシタ科）
8月開花 黄色の花で蓮華ショウマに似ていることから名がつけました 当園ではすぐ虫に食われるので、なんとか綺麗に咲かせたい！

自然観察

【自然観察】倉川典夫

シジュウカラ、ヤマガラ、エナガなど小鳥たちは子育てが終わりヒナの声も聞かれなくなりました。

5月下旬から6月中旬だけに見られるミズイロオナガシジミやアカシジミなどのシーズンも終わりました。

7月になるとクヌギの樹液にはカナブン、ヨツボシケシキスイなどの甲虫やキタテハ、ヒカゲチョウなどが集まります。見晴らしの丘の草地を歩くと少し大きくなったショウリョウバッタやオンブバッタの幼虫がピョンピョン跳ねています。

7月はセミも鳴き始めます。最初に鳴き始めるのはニイニイゼミです。続いてヒグラシ、アブラゼミやミンミンゼミが続きます。ヒグラシは朝夕に鳴くのですが、くわくわ森は葉が繁り少し暗いので昼間でも鳴くことがあります。セミの声を聞きながら、くわくわ森の木漏れ日と森林浴を楽しんでください。



【キタテハ】



【セミの羽化殻】

天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日（祝日は翌日）

年末・年始（12月29日～1月3日）

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付